



わらしべの里通信

桃の節句を今年も祝える幸せ



カラフルなおひなさまですね!!



2人の協力で完成したよ!!



かわいらしくできましたね じっくり笑顔(^O^)/

3月3日は「桃の節句」。わらしべの家でも3月2日(金)午後2時30分から、仲間の会主催による「ひな祭り会」が開催されました。今年で10回目。みんなが「わらしべの家ひな祭り」で思い浮かべるのは、2人1組になって塗る塗り絵。この日も、塗り絵で始まり、仲間たちは、ひな壇飾りにそっくりに塗り上げたり、みんなで相談し色使いを変えたりと、テーブルごとに個性あふれるひな壇コレクションが完成しました。そのあと、コレクションを手に笑顔が咲き誇った顔を写真撮影し、心に思い出として刻んでいました。

そして、塗り絵が終わった午後3時15分から、通信カラオケにあわせ「うれしいひなまつり」を歌い心が暖まり、「紙コップを持ってください。乾杯」という音頭を皮切りにみんなで仕事のこと、日常生活での出来事を話題に楽しい「おしゃべり」をしながら時間まで飲んだり食べたり・・・仲間たちの顔は笑顔でした。(混む)



2月～3月の行事

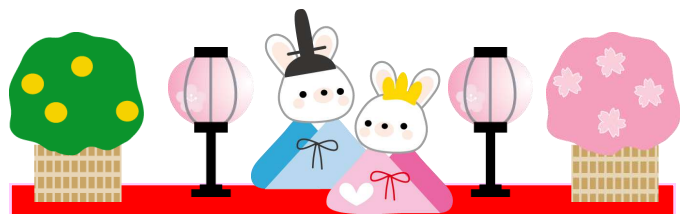
	16日	2日	16日	2日	2月の行事
	誕生会(2人)	ひなまつり 仲間の会	誕生会(3人)	節分豆まき 仲間の会	
		3月の行事予定			

これからの行事予定

	15日	7日	20日	18日	20日	上旬	4月の行事予定
	仲間の会	公園清掃 ポランティア	6月の行事予定 レクリエーション	誕生会(6人) ゆーあい工房まつり レクリエーション	誕生会(7人) 仲間の会	誕生会(7人) 仲間の会	花見会
				5月の行事予定			

体調に気をつけてお過ごしください

※月の第1金曜日は、レクリエーション、第3金曜日に、仲間の会・誕生会を仲間の会主催で行います。





～1年間無事に過ごせますように～



自分の心の中にいる鬼にも豆をぶつける仲間たち

今年の節分の会の日、雪のためか仲間の欠席者が多くなり、1週間遅らせて「節分の豆まき会」を食堂にて開催されました。

仲間の会の会議で、鬼の役になりたい人を聞いたところ、今回は2名の希望者があり、鬼になってくれました。節分の鬼たちは、みんなの体のなかにある悪いむしを取ってくれます。14時30分に作業が終わり仲間たちが休み時間に食堂へ集まり、節分の準備を始めます。鬼役の仲間たちも準備が整い、今年も会が始まりました。仲間たちは、テーブルごとに8つの班に分かれ、順番に用意された豆を持って「鬼は外、福は内」と言いながら

豆を投げ、鬼退治をしました。それと同じに、1年のうちにいつのまにか体に入り込んだ弱むしや怠けむし、いじわるむしなどの悪いむしたちも退治出来たようでした。

鬼を担当した仲間は、「先日まで、どうすれば、鬼を表現できるか考えた。当日、青いバットを振り回したり、いつもとは違った声（うなったり、叫んだりなど）の工夫をしてみました。豆が当たった時は、痛い！と声を出して、後ずさりしてみたり、追る力を出るだけ少なくするよ！うになど工夫もしてみました。みんな（仲間）の心の中の鬼がいなくなったようなので、この役をやってみて、良かったと思



鬼は外～！福は内～！

思った」と話していました。

全員が投げ終わった後、席に戻り仲間たちは、この1年間無事に、健康で過ごせるようにと豆を食べました。お茶を飲みながら、作業のこと仲間同士のこと、家でのことなどいろいろなお話をしながらゆったりとした時間を過ごしました。ある仲間は、「豆を楽しく投げられてよかった」、「とても楽しかった」、「2名の鬼さんに豆を当てられて良かったです」、「初めての節分、楽しかった。皆で豆まきして楽しかった。皆で、楽しく、やれてよかった」と、話していました。本日の豆まきの行事は無事に終了しました。節分が終わった後は、暦の上で





2018年仕事始め 抱負を語って、気持ち新たに！！

わらしべの家で仕事始めの日になった1月4日は、仲間たちが朝9時までに元気よく出勤して、わらしべの家第1作業所と第2作業所でいつものように朝礼をすませ、朝9時5分すぎから正月休みボケを吹き飛ばすように請負事業、自主製品事業、IT事業、リサイクル事業といった4つの持ち場で真剣に生産活動をはじめ、カレーライスの昼食をはさみ夕方まで作業をしました。10回目の開催となった「みかんを食べながら新年の抱負を語りあう会」は、生産活動が落ち着いた1月5日14時45分から行われ、司会者に呼ばれたテーブルの仲間が前に出て1



仲間や職員が見守るなか、緊張しながら新年の抱負を発表中

人ずつ『スポンジのお仕事を、がんばります。元気にわらしべの里へ、行きます』、『ジョッター（作業）をがんばる。会長として、みんなをまとめたいです』、『おしごとがんばります』、『ボールペンのかしめのおしごとがんばりたいです』、『元気で、いられますように』、『さをり織り、がんばる。ダイエットがんばる』という仕事や健康維持に関する抱負を発表しました。

仲間たちが抱負を言い終わったあとに、わらしべの家仲間の会役員から新年の挨拶があり、9月30日までの任期を「どうぞよろしくお願いします」、「副会長として、がんばる」、「よろしくお願いします」などと挨拶し、気持ちを新たにしています。

仲間それぞれに、みかんを食べながら年末年始にあったことを話し、2018年も頑張る、楽しむために気持ちを切り替え、週明けに備えていました。（混む）



新年の挨拶をしているわらしべの家 仲間の会：役員たち



鬼役の笑顔の仲間

は春ですネ。寒さにもお別れが近いようですが、今年は、強い寒気が日本へ沢山入って来るせいか、雪が2回も降りました。私たち、関東の人は雪に弱いので、大変苦労してしまいます。雪はもう懲り懲りです。早く暖かい春が訪れますように…。（PORI）



サンタクロースがきてくれました



黒板に飾られたクリスマス会の進行表

12月の土曜開所日は栃木市内の有名な和菓子屋の職人さんに来て頂いて、「和菓子作り体験」をしました。季節にぴったりのサンタクロースとクリスマスツリーの和菓子を手作りしました。和菓子なので和風のものを作るのかと想像していましたが、洋風のものだったので、和洋関係なく季節のものならこだわらなくてもいいんだなと思いました。

職人さんに教わりながら作るのですが、当然ながら上手には出来ません。職員さんも手伝ってくれますが職員さんも全然きれいに出来ないのです、職人さんたちが順番にテーブルをまわりながら指導

導してくださいました。職人さんの手のなかでまるで生きているかのように次々と形になっていく和菓子たちを見てると、手のなかで魔法にかけられているようにうでした。楽しい時間は、すぐに過ぎていきました。

午後は、仲間たちで手作りのリースを作った、クリスマス会を行う食堂に飾りました。手作りのリースと折り紙のサンタさんも一緒に飾り付けました。男性職員は、はしごに登って天井や壁に折り紙で作った長い輪っかの飾りをつけてくれました。一気にクリスマススムードになりました。クリスマスツリーも出してみん



2017年もかわいいサンタさん



クリスマス会の風景

なで、飾りつけをしました。クリスマス会の準備がすっかり出来ました。後は、当日を待つばかりとなりました。楽しみです。ある仲間は、天井や壁に折り紙で作った長い輪っかの飾りを見て、万国旗のように思ったのか、会場を見ながら「運動会みたいだなあ」と喜んでいました。

そして、22（金）の当日になりました。午後1時から楽しく華やかに、クリスマス会が食堂で開かれました。

最初は、おなじみのビンゴゲームから始まりました。1枚のカードを持って真ん中を開いたらゲーム開始です。ルー



楽しいクリスマス会



こわごわピクピク、箱の中身をさわって…

レットは、テーブルごとに仲間たちが順番にまわりました。「10です」、「35です」と声があがります。揃ったら「ビンゴ」と言って、上がった順番でぬいぐるみやノート、文具セットなどがあり、豪華な賞品を選びました。ある仲間は、「なかなかビンゴにならなかつたけど、やっとビンゴになってよかつたです」と、話していました。

お次は、プレゼント交換です。仲間たちが誰にあたって喜ばれる1人1個のプレゼントを作業の合間に100円ショップに買いに行き、準備をしていました。毎年脱線してしまうので、今年は

しないように職員の間で左手は左側の仲間へ、右手は右側の仲間からプレゼントを受け取るルールをゆっくりとわかりやすい説明を受けながら行いました。ある仲間は、「誰にもわかれてもいいものにした」と、話していました。

イントロクイズでは、正解したら賞品の飴がもらえるので、仲間たちは知っている曲が流れるとすぐに手を挙げて答えました。ある仲間は、「当てることでよかつた」と、話していました。

次は、箱の中の物が見えないように手だけを箱に入れ、どんな物を当てるゲームです。解答者は、まわりの人のヒ



これは何かな～？

ントを参考に、みんなドキドキしながら手を入れます。普段使っている物に触っているのに、わからないことが不思議で、おもしろかつたです。見えないと、何もわかりません。視覚は大切ですね。

ある仲間は、「楽しいクリスマス会でした」と、話していました。毎年行われるクリスマス会ですが、今年は土曜開所日から準備をはじめたので、少し早めのクリスマスのお囃子のなかでウキウキしながらも慌ただしい12月を過ごせました。来年はみんな元気に過ごし、みんなの笑顔が揃ってひとりのも欠けることなく、クリスマス会を迎えたいです。（P OR）



満点の笑みを浮かべる仲間たち



わらしべの家のみんな、おもちゃの国で童心に帰る

14回目のわらしべの家の日帰り旅行が、11月18日に行われ希望者全員、参加しました。寒暖の差で、10月下旬から風邪が流行っていましたが旅行当日には体調を戻したみんな。心躍らせて向かった先は、「おもちゃのまちバンダイミュージアム」。玄関に入った参加者を全高5.6Mの実寸大ガンダムがお出迎え。その前で写真におさまり、「おもちゃを早く見たい」という感情を抑えながら、オリジナルキーホルダー作り教室が行われる2階へ急ぎます。

キーホルダー作りでは、書きたいイラストをプラスチックの白い板に自分で書くのも、ミュージアムから提供された素材集から写すのもいいということで真剣な表情で描き、係のお姉さんに完成品を手渡して、終わった班から順番におもちゃの世界へ入場していきました。3万点あるおもちゃの世界では、童心に戻りコレクションの中をまるで水を得た魚のようにイキイキと見てまわり、思わず「おばQだ」、「鉄人28号だ」、「クリーミーマミだ」と声をあげたり、目を光らせたり、1916年にタイ国王に贈られたモーターカーの前では「今も動くのかな」と考え込んだり思い思いの時間をすごしていました。

童心に戻って約1時間の見学を終え、「おなかすいた」という声も聞こえるようになつたので、小山市のレストラン「和風ダイニング 彩華」へ。このレストランには数年前にもお世話になり、この日もさりげなく格別の対応があり、ゆっくりに時間を過ごせました。美味しいお昼のあとは、道の駅「思川」で、シュークリームやアイスを食べたり、お土産を買ったりしてのんびり。わらしべの家到着後、名前を呼ばれ、焼きたてのキーホルダーを手渡されて笑顔で写真におさまった参加者たちは、16時、思い出を胸にしまい元気よく「さよなら」と帰宅の途につきました。

（混む）



ガンダムと記念撮影



館内を見学する仲間たち



制作活動中！



おやつにアイスクリームを食べています
良い笑顔だね



「わらしべの里通信第46号（通巻60号）」発行に思う

「わらしべの里通信」第46号で、財団法人わらしべの里時代から数えると60号になります。

混む（当時18歳）が1996年4月1日から、障害者福祉作業所わらしべの家の一員となり、最初は請け負った作業をやっていましたが、手が不自由な僕には担当できませんでした。そこで、金坂理事長が考えてくださったのは、「わらしべの里通信」という機関紙の発行でした。翌日、自分が学生時代に発行していた学級新聞のフォーマットを持ち込み、「わらしべの里の生の情報発信源」として、1996年4月24日創刊号発行となりました。

財団法人時代の「わらしべの里通信」は、栃木市内のフランス料理店で、新人歓迎会を開催したこと、マロニエ医療福祉専門学校で学生さんが授業の一環で仲間と協働（共同）作業を行ったこと、障害者ツアーで、沖縄、北欧、韓国にいったこと、秋の親子1泊旅行など取材し紙面編集をしてわらしべの家の仲間たちや、保護者の方から栃木市役所内にある中央記者クラブ所属新聞記者のみなさんまで配っていました。

2000年から2001年にかけて、財団法人わらしべの里から社会福祉法人わらしべの里へ組織変更が完了するまで休刊し、2002年からIT事業部「わらしべの家・パソ工房」として、養護学校とわらしべの家の先輩であるポリさんとマイクロソフトとパブリッシャー

というソフトを用い編集を再開。号数が、1996年から22年で60号ですから少ないですね。でも、その年代の紙面を読むと、時代背景がよくわかり、懐かしいです。

現在もわらしべの里通信を楽しみにしていらっしゃる読者の方を待たせてはいけないうと、パソ工房の生産活動が忙しいときでも、作業の合間を縫うように協年間計画や、わらしべの家仲間の会年間計画に基づいて自ら体験したわらしべの家の仲間が楽しかったことを、2人代わる代わる記事を書いて編集しています。同じような行事でも2人が思考を凝らして書いていますから、新鮮にうつっているのではないのでしょうか？

1990年代は、撮影した写真をそのまま社会へのアピールにと載せていましたが、今は記事ごとに写真掲載承諾書を該当されるご本人やご家族に出し、「わらしべの里通信」や「わらしべの里公式ホームページ」に載せてもいいかどうかのお伺いを立てて承諾を頂いてから情報が新鮮なうちにわらしべの里公式ホームページとわらしべの里通信に載せています。

福祉政策の問題提起はあまりしていませんが、イキイキとした表情が伝わる文章や写真を見て、わらしべの里での仲間たちの活動を温かく見守っていただければ、幸いです。

大きな節目である「わらしべの里通信第100号（通巻114号）」が、発行

されるのは何年後で、混むとポリさんは何歳になっているでしょうか？60歳代かな・・・朝、わらしべの家へ出かけ、夕方帰る場所は自宅かな？それともどこかの障害者施設かな？先のことを考えると、胸が苦しくなりますが節目に向かっています。1号1号大切に発行していきます。

（混む）



わらしべの里通信バックナンバー





これからも明るく楽しく笑顔一杯に過ごしましょう



みなさん、こんにちは。体調など崩さず、毎日すこやかに過ごしてはいかがでしょうか？おなじみの仲間の役員さんにインタビューのコーナーです。今回は会長・副会長のおふたりにお話を聞きました。

Q1. 1年6ヶ月間、会長・副会長として組んでいかがでしたか？

A. 会長・副会長おふたりとも「もっと、やりたい。「みんなが楽しんでいる表情や姿を見て、もっとやっていきたいと思っています。」

Q2. 会長は3期目、副会長は1期目に挑戦中ですが、自分のためになったことや、成長したこと、感じたことはありますか？

A. 会長・「大きな声が出るようになった」副会長・「私は、人前で恥ずかしがることなく、話ができるようになった」

Q3. 会長、副会長になって、心に残ったことや、よかったことは、ありますか？

A. 会長・「大変勉強になりました。（僕の話聞いて）みんなが手をあげてくれていると思うとうれしくなった」副会長・「ここまでやって来られたのは、みんなのおかげです。感謝しています」

Q4. 今年9月に仲間の会主催の選挙があるのですが、今年度の選挙に立候補はするのでしょうか？

A. 会長・副会長おふたりとも「楽しいので、是非立候補したい。」

Q5. 仲間たちにそれぞれにメッセージをお願いします。

A. 会長・副会長おふたりとも「これからも明るく楽しく笑顔いっぱい過ごしましょう」



仲間の会の会議風景だね



平成30年度年間計画

4月	花見会 ※
5月	ゆーあい工房まつり ※ レクリエーション
6月	レクリエーション
7月	七夕
8月	アイスを食べる会
9月	わらしべの里・仲間の会役員選挙
10月	スポーツ交流会 ※
11月	イベント ※
12月	クリスマス会 ※
1月	新年の抱負を発表する会 (みかんを食べながら)
2月	節分豆まき
3月	ひな祭り

※印はわらしべの里の行事。その月に行事がある時は、「仲間の会」のレクリエーションは行いません。

社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第46号(通巻60号)
発行元 社会福祉法人わらしべの里
発行責任者 金坂 直仁
編集者 わらしべの家パソ工房
〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
電話 0282-27-1627
Fax 0282-27-1675

E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp (事務所)
http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/

平昌冬季五輪が終わって、北朝鮮の参加やロシアのドーピング問題などもありましたが、皆さんの感動を与えてくれた選手の皆さんにありがとうございました。お疲れ様でした。お疲れ様です。

野選手たちにより、金・銀メダルを獲得し、とても素晴らしい事がありました。ご本人は、陰で支えてくれた多くの方たちの支えがあったからとこそ、今回の結果に結びついたのだらと話していただきました。

でも、盛り上げてもらいたいです。この冬も若い人たちが引っ張って、来年も盛り上げてもらいたいです。

今年の春は、暖かい日が多く体調を崩しやすいので、体調管理に十分気を付けたいですね。そのためには、よく食べ・良く寝て・適度な運動が大切ですよ。と言いつつ、現実は無理のないように実行したいですね。(範)